

## 平成26年度交換留学（派遣）3次募集 募集要項

平成26年度に協定校へ派遣される交換留学生の追加募集を行います。希望者は以下の募集内容を十分に確認のうえ、申請してください。

### 1. 派遣期間

3ヶ月以上1年以内。平成26年4月以降平成27年3月までの間に開始する交換留学が対象。ただし、選考となった場合は1年の者を優先とします。

### 2. 応募資格

学生交流協定（覚書）を締結している（予定も含む）部局の学部正規生・大学院正規生で次の要件を満たす者。

- (1) 学業成績が優秀で、人物等に優れている者。
- (2) 留学の目的及び計画が明確で、留学による効果が期待できる者。
- (3) 留学期間終了後、横浜国立大学に戻り、学業を継続する者または本学の学位を取得する者。
- (4) 派遣先大学所在国への留学に必要な査証（VISA）を確実に取得し得る者。
- (5) 英語圏大学希望者は TOEFL iBT もしくは IELTS の有効なスコアを有すること。  
また、非英語圏の大学希望者は各言語の語学検定試験結果等を有すること。なお、学内募集に関してはスコアによる受付制限はないが、推薦を行うには派遣希望大学の語学要件を満たしている必要がある（詳細は7. を参照のこと）。

### 3. 提出書類及び記入上の注意

#### (1) 提出書類

- ①平成26年度交換留学（派遣）3次募集提出書類チェックリスト
- ②平成26年度交換留学（派遣）3次募集申請書
- ③個別成績表（2014年4月に各部局で配布されたもので、GPAの記載されているもの）
- ④語学テストのスコア
  - ◇英語圏の大学及びヨーロッパ等の大学の英語によるコースへの留学希望者：  
TOEFL iBT もしくは IELTS のスコア  
※スコアの表示されたインターネット画面をプリントアウトしたもので構いません
  - ◇非英語圏の大学希望者：  
下記Ⅰ～Ⅲのうち、いずれかを提出
    - Ⅰ. 語学検定試験の成績（仏語検定・独語検定・HSKなど）
    - Ⅱ. 語学学校等の修了証書等
    - Ⅲ. 外国語の履修証明（本学個別成績表に明記されたもの）

※提出期限までに TOEFL もしくは IELTS のスコア、また非英語圏の必要書類が揃わない者は申請を受け付けないので注意すること。（提出する書類は、TOEFL/IELTS はスコアの表示されたインターネット画面をプリントアウトしたものでも構いません。）

※なお、非英語圏の大学では英語圏の大学ほど厳格に語学要件が求められることはありませんが、語学コースではなく、正規専門課程への留学を希望する場合は、語学検定を取得していることが望ましい。

#### 4. 日本学生支援機構（JASSO）による海外留学支援制度（短期派遣）奨学金について

「海外留学支援制度（短期派遣）奨学金」は、日本学生支援機構が実施している給付型奨学金制度で、奨学金額は月額6～8万円（派遣地域により異なる）。平成26年度の奨学金採択人数は、国立・公私立大学併せて20,975名で、本学では3プログラム（経営学部・経済学部・全学）、36名が採択されています。

当該奨学金への推薦を希望する者は、申請時に提出する「平成26年度交換留学派遣生3次募集提出書類チェックリスト」の奨学金希望の有無の欄にその旨記載してください。

なお、当該奨学金は大学が実施する交換留学による国際教育プログラムに対する支援となります。そのため奨学金採用者は、推奨科目の受講（本学国際交流科目など）、留学後の報告会への協力、語学検定試験の受験、交換留学（派遣）終了時の報告書の提出などが求められることとなります。

奨学金希望者はこのことを十分理解の上で、申し込んでください。

上記採用プログラム、採択人数に応じて、平成26年度交換留学（派遣）応募者のうち奨学金を希望する者の中から、選考により奨学生予定者を決定します。

- ・渡航時期：派遣年度の4月1日～3月15日までの間に渡航すること。
- ・応募資格

前記「（1）応募資格（1）～（5）」の交換留学派遣生の募集条件に加えて、以下（A）～（D）の条件も満たす者とする。

- （A）日本国籍を有する者または日本への永住が許可されている者
- （B）学業成績が優秀で、人物等に優れており、かつ、平成25年度の成績が下記に定める方法で求められる成績評価係数が、2.30以上であること。

##### 【成績評価係数算出法】

秀：3ポイント 優：3ポイント 良：2ポイント 可：1ポイント

##### 計算式

$$\frac{(3 \text{ ポイントの単位数} \times 3) + (2 \text{ ポイントの単位数} \times 2) + (1 \text{ ポイントの単位数} \times 1)}{\text{総登録単位数（不可になった単位も含む）}}$$

- （C）経済的理由により、自費のみでの留学が困難な者。原則として以下の家計基準に合致すること。
  - ・学部生の場合、年収・所得の上限額が給与所得世帯：907万円程度、給与所得以外の世帯：421万円程度
  - ・大学院生の場合、本人及び配偶者の収入が、修士課程：486万円以下、博士課程：553万円以下
- （D）他団体等から留学のための奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が当奨学金の支給金額を超えない者。

#### 5. 学内選考、交換留学派遣生の決定

学内の選考は、申請書類、本学の成績、語学力、面接等により総合的に判断の上、行われます。平成26年8月上旬に内定者（交換留学派遣候補生）を掲示予定。（夏季休業期となるため申請学生へは、メールでも通知する予定です。）

ただし、最終的な入学許可の決定権は派遣先大学にあり、交換留学派遣候補生に決定した後も、派遣先大学からの受入れ人数とのバランスや成績等の申請書類の内容により、入学を許可されない場合もあるので留意すること。

## 6. 申請書類提出期間及び提出先

提出期間：平成26年7月22日（火）

～平成26年7月25日（金）17：00期限厳守

提出時間：午前9時～午後5時（12時45分～13時45分除く）

提出場所：学務・国際部国際課留学交流係

（国際教育センター（旧 留学生センター）内）

## 7. 英語圏大学の語学要件と学内派遣基準について

（英語圏の大学及び非英語圏の大学の英語によるコースへの留学希望者対象）

英語圏の大学・コースへの推薦を行うには、派遣希望先大学の語学要件を満たしている必要があります。語学要件については当募集要項の大学一覧にも記載がありますが、変動的なため各大学のHPで各自確認するようにしてください。

また、本学では交換留学（派遣）推薦に最低限必要な英語要件として、**TOEFL iBT80、IELTS6.0**を学内派遣基準としています。この学内派遣基準および派遣希望先大学の語学要件を満たしていなければ、原則として交換留学派遣候補生になれません。（平成26年度より英国への留学にはIELTSのスコアが必要になりました。）

なお、語学要件を満たさない方でも申請は可能ですが、申請書提出期限の時点で派遣希望先大学の語学要件を満たしていない人は、補欠生となります。

補欠生については、学内選考後にも推薦枠に空きがある大学について、派遣希望先大学の語学要件を満たしたスコアを提出することで、交換留学派遣候補生となることができます。

また、一部の大学において、先方の語学要件が本学の学内派遣基準よりも低く設定されている大学があります。こうした大学においても原則として学内派遣基準を満たす者を推薦します。ただし、各大学の申請期限の約一か月前となっても学内派遣基準を満たす者がいない場合は、例外的に各大学の語学要件を満たす者の中から繰り上げ推薦を行います。ついては、補欠生となった者で語学試験のスコアが更新された場合は、都度国際教育センター（旧 留学生センター）へ提出、連絡してください。

申請書提出期限以降の補欠生のスコア提出方法は、本人が国際教育センター（旧 留学生センター）窓口に直接持参するか、後述の連絡先までメールにて提出することとし、先着順で交換留学派遣候補生を決定します。また、学内におけるスコア提出の締め切りは、各大学の定める推薦期限の約一か月前です。

### \* 定義

#### **交換留学派遣生**

派遣先大学の入学許可を得た者

#### **交換留学派遣候補生**

- ・英語圏もしくは非英語圏の大学の英語によるコースへの留学希望者のうち、派遣希望先大学の語学要件および学内派遣基準を満たし、学内選考により派遣大学が決定した者。
- ・非英語圏留学希望者のうち選考により派遣大学が決定した者。

#### **交換留学派遣補欠生**

英語圏もしくは非英語圏の大学の英語によるコースへの留学希望者のうち、派遣希望先大学の語学要件および学内派遣基準を満たしていない者。

## 8. その他注意事項

（1）留学にあたり、派遣国の国情も含めて両親等と十分に話し合い理解を得ること。

また、指導教員等にも相談してアドバイスを受けておくこと。

さらに自身での情報収集（留学希望大学概要、留学先国の文化・社会事情・生活習慣、海外安全・生活情報など）に努めること。

なお、交換留学派遣生決定後は、原則として辞退は認められない。

- (2) 募集大学一覧に掲載されている大学について、自分の専門に関連する学部等があるかどうかは、各自で必ずHP等で確認すること。
- (3) 派遣先大学の定める入学基準は、先述の語学要件を含めて予告なく変更されることがあるため、各自で随時各大学のHPにより確認すること。
- (4) 交換留学派遣候補生決定後は、派遣先大学への入学申請を行います。留学が認められ、派遣先大学の入学（受入）許可書が得られた後、正式に横浜国立大学の交換留学派遣生となる。  
入学（受入）許可書は大学宛もしくは個人に直接送られてくるので、許可書が到着後、各自留学ビザの取得や寮の手続きを行う。ビザ、寮の申請や渡航手続きについては、各自責任を持って行うこととなるため、遅滞、漏れがないよう十分留意すること。  
また、派遣先大学から提供される学生寮等は派遣年度により条件が異なる場合があるため留意すること。
- (5) 留学前に、本学が指定する留学保険又はこれに類する保険（本学が定める要件を満たすものに限る。）及び留学サポートプログラム（1年間約1万9千円）に必ず加入すること。その他、留学前に保護者署名による誓約書も提出すること。
- (6) 交換留学派遣生には、留学先において自分でテーマを決めて研究する「個別研究」が義務づけられているので、渡航前に自分でテーマを決めた上で研究計画書を提出し、帰国後報告書を提出すること。また、留学後に成果報告会などが行われる際には、積極的に参加すること。
- (7) 交換留学派遣生に決定された後でも、派遣先が外務省により危険地域に指定された場合など、本学によって派遣すること、もしくは派遣を継続することが危険であると判断された場合、派遣の取り止め、もしくは途中帰国を命ずることもあるので、その場合は本学の判断に従うこと。
- (8) 大学院生が申請する場合には、必ず申請の前に国際教育センター（旧 留学生センター）に相談にくること。また、申請にあたっては留学計画等について、指導教員への了承を得ておくこと。
- (9) 交換留学派遣生を対象とした日本学生支援機構による貸与型の奨学金「第二種奨学金（短期留学）」を希望する者は国際教育センター（旧 留学生センター）窓口に来ること。
- (10) 現在、日本学生支援機構による第一種・第二種奨学金受給中の者、第二種奨学金（短期留学）へ申請する者については、海外留学支援制度（短期派遣）奨学金に採択された場合、平成26年度より各奨学金との併給が認められるようになりました。
- (11) 他の団体等から奨学金を受ける場合、その奨学金支給団体が、海外留学支援制度（短期派遣）奨学金との併給を認めない場合があるので、各自奨学金支給団体に確認する

こと。

- (12) 横浜国立大学から、交換留学派遣生を対象として、日本学生支援機構の海外留学支援制度（短期派遣）の採用者を除く希望者に、選考の上、1人10万円（1回限り）を上限に奨学金として支給しています（横浜国立大学学術交流奨励事業（交換留学派遣生奨学金））。支給人数は年度により異なるため、詳細は追って連絡します。
- (13) 交換留学派遣生の募集は、奨学金・私費希望にかかわらずまとめて募集を行い、奨学金受給者決定後に、受給者以外の者は自動的に私費の交換留学（派遣）扱いとする。（ただし奨学金が受給できない場合、交換留学（派遣）を希望しない者は除く。）
- (14) 交換留学派遣生決定後に派遣前オリエンテーション（1月下旬予定）を実施します。  
予定を調整の上、必ず出席すること。

**◎問い合わせ先**

**学務・国際部国際課留学交流係（国際教育センター（旧 留学生センター）内）**  
**電話：045-339-3183、E-mail：kokusai.ryugaku@ynu.ac.jp**